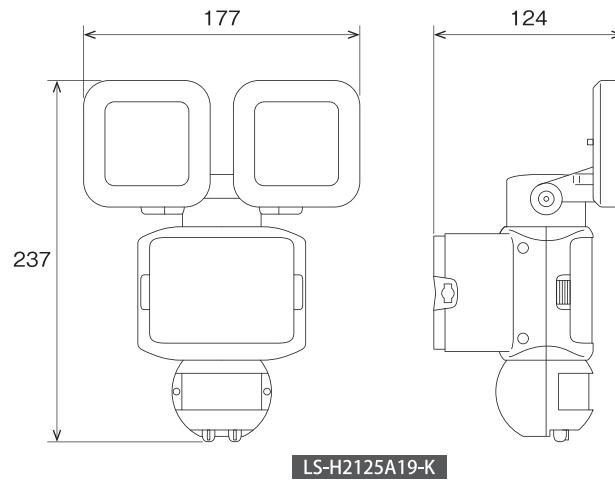


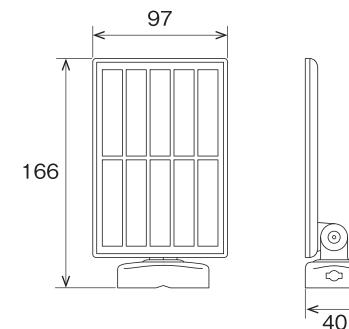
## 外形寸法図

単位: mm

《センサーライト》



《ソーラーパネル》



### 保証書(持込修理)

商品名	ハイブリッド式 LEDセンサーライト 2灯		
型番	LS-H2125A19-K	品番	06-4248
★お買い上げ日	年 月 日		
保証期間	本体1年間(お買い上げ日から)		
お客様 ふりがな ★お名前 様			
★ご住所	〒 _____		
電話	( )		

注)★印欄に記入のない場合は、無効となりますので、必ずご確認ください。  
(販売証明シール、領収書等は有効です。)

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。

※お客様にて記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

**OHM** 株式会社 オーム電機  
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8  
<https://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ  
電話 048-992-3970 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

●通話料無料 ●専用・IP・公衆電話からは  
0120-963-006 048-992-2735  
電話 048-992-3970 平日 9:00~17:00  
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

ELECTRIC INC.  
**OHM**

取扱説明書

保管用

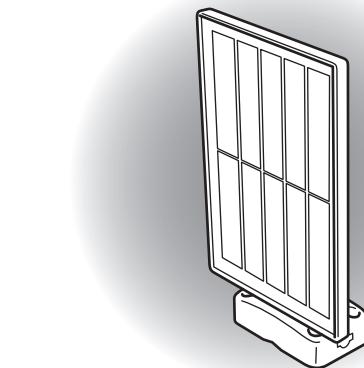
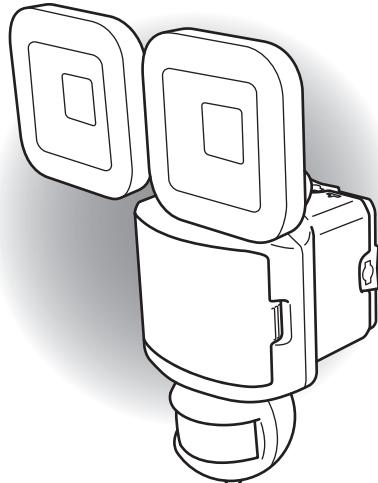
保証書付

# ハイブリッド式 LEDセンサーライト

2灯 品番: 06-4248 / 型番: LS-H2125A19-K

## もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	3
電池の入れかた	3
ライト取り付け時のご注意	4
プラケットの取り外し	4
プラケットの取り付け	5
本体の取り付け	6
ソーラーパネルご使用前のご確認	6
ソーラーパネルの取り付け場所	7
ソーラーパネルの取り付け	8
ソーラーパネルと本体の接続	9
検知エリアについて	9
センサーの調節	9
充電池の交換	10
故障かな?と思ったら	10
お手入れのしかた	11
製品仕様	11
外形寸法図	12
保証書	12



この度は当製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

**ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**

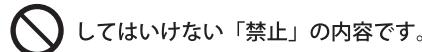
この取扱説明書は保証書を兼ねていますので内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

# 安全上のご注意

※必ずお守りください。

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

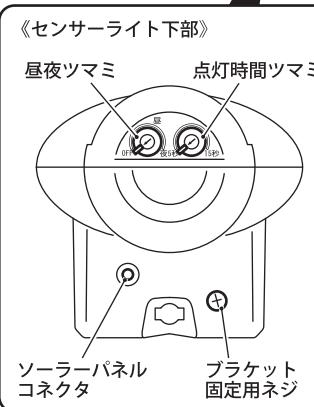
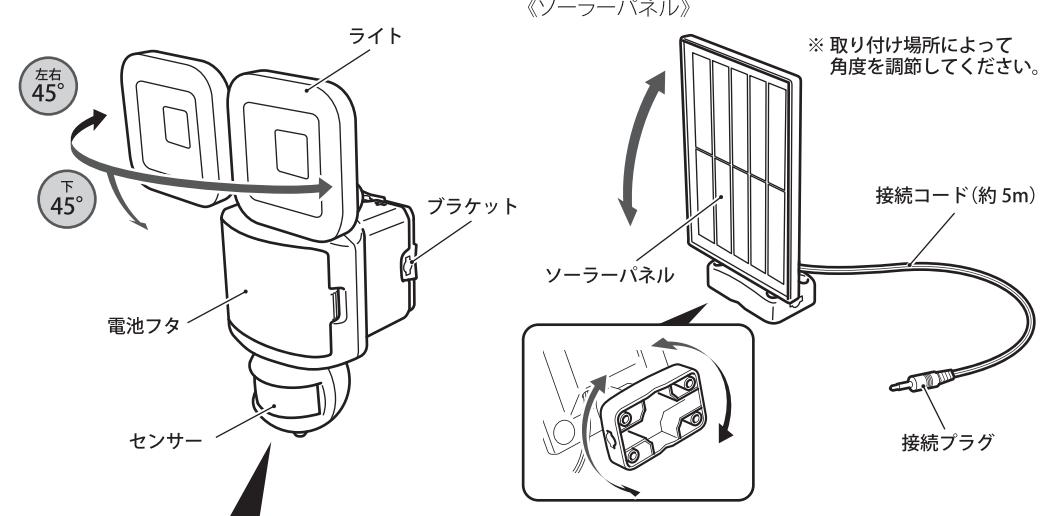
<b>!</b> 必ず行う	本体の取り付けはこの取扱説明書に従い、確実におこなってください。	<b>!</b> 必ず行う	乾電池の異臭、発熱、変形に気が付いたときは電池を抜き、弊社お客様相談室にご相談ください。
<b>!</b> 必ず行う	本体は水平に、センサー部を下にして取り付ける。斜めや逆さまに取り付けると正しく検知ができないことがあります。また雨水が入り故障の原因となります。	<b>!</b> ぬれ手禁止	乾電池を交換する際は濡れた手で本体に触れない。また本体が濡れている場合も触れないでください。
<b>!</b> 禁止	本体を大量の水がかかる場所に設置しない。また、水中・暴風での使用はしない。防水タイプではありません。	<b>!</b> 禁止	布や紙など燃えやすい物の近くに取り付けない。また、布や紙などで覆って使用しない。火災の原因になります。燃えやすい物との距離を十分に確保してください。
<b>!</b> 禁止	点灯中のライトを直視しない。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。	<b>!</b> 分解禁止	器具を改造・分解しない。部品交換をしない。火災・感電・落下によるけがの原因になります。また、保証の対象外となります。



傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 本機は人を検知した時にライトを点灯させますが、侵入・盗難を確実に阻止するものではありません。万一発生した損害につきましては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機を布団や洗濯物などのもので覆って使用しないでください。センサーが反応し続け、引火するおそれがあります。
- 気温・気圧等の気象変化によりセンサーがまれに誤作動することがあります。故障ではありません。
- 乾電池は正しく使用しないと液漏れ・破裂・発熱などの原因となりますので以下の取り扱いにご注意ください。
  - ・ 本機はアルカリ乾電池専用です。(マンガン乾電池や充電池を使用すると動作不良のおそれがあります。)
  - ・ 電池は $\oplus/\ominus$ 方向を正しく入れてください。
  - ・ 古い電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
  - ・ 長期間使用にならない場合は電池を取り外してください。
  - ・ 使用寿命を過ぎた乾電池を長時間電池ボックスに入れたままにしないでください。(液漏れのおそれがあります。)
  - ・ 電池は充電しないでください。
  - ・ 乾電池の異臭、発熱、変形に気が付いたときは使用を中止して、弊社お客様相談室へご連絡ください。
  - ・ 電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は失明やケガのおそれがありますので、多量のきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
  - ・ ソーラーパネル使用時も乾電池を長時間電池ボックスに入れたままにせず、液漏れがないよう定期的に確認してください。
- 電動シャッターなど電波を利用する機器の近くで使用しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- モーターなど磁場が発生する機器の近くで使用しないでください。
- ガス機器や排気口など、温度の高くなるものの上に取り付けをしないでください。
- 落下・故障の原因となりますので必ず付属品または別売品を正しく使用してください。
- 本体のお手入れは柔らかい布で乾拭きするか、薄めた中性洗剤を含ませ固く絞ってから拭いてください。
- 本体の取付ネジやクランプは半年に1~2回を目処に、ゆるみやガタつきがないか点検してください。
- ライトの明るさや光の色に違いが出る場合がありますが商品の特性上ご了承ください。
- LEDの交換はできません。
- 仕様および外観は予告なく変更する場合があります。

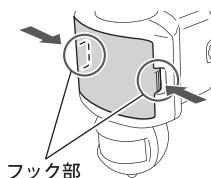
# 各部の名称



付属品	※必ずご確認ください。		
・コンクリート用スリーブ×4本	・クランプ台×2個	・保証書付取扱説明書(本書)	
・ネジ×4本	・L形ボルト×2本 (ちょうナット、ボルトカバー付き)		

# 電池の入れかた

1. 電池フタの左右のフック部を押さえ、手前に外す。

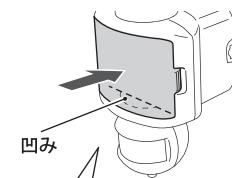


- フック部
2.  $\oplus/\ominus$ の向きを確認して単2形アルカリ乾電池を3本セットする。



※左図のように $\ominus$ 側から矢印の方向に入れてください。

3. パチッとまるまるようにしっかりリフタをしめる。



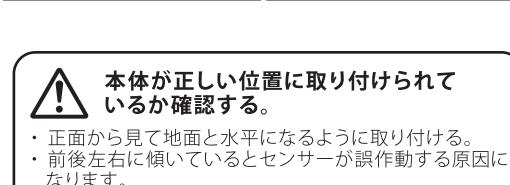
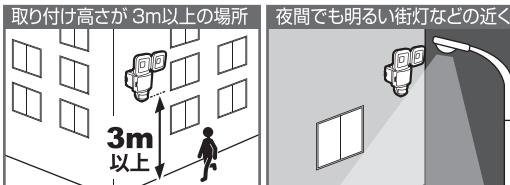
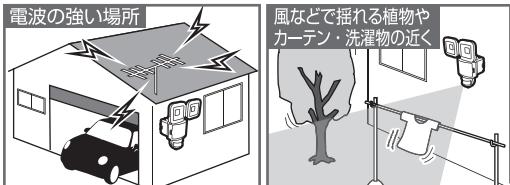
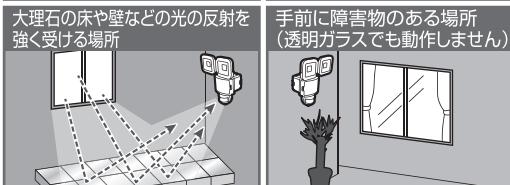
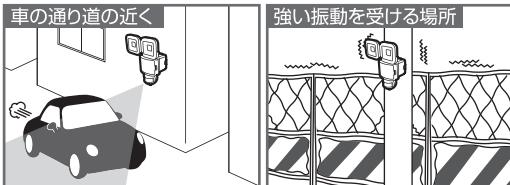
※電池フタには向きがあります。凹みがある方を下にしてください。

- 凹み
- ・ 新品で同じ銘柄のアルカリ乾電池を使用してください。
  - ・ 使用済みの乾電池はお住まいの自治体の廃棄方法に従って処理してください。

## ライト取り付け時のご注意

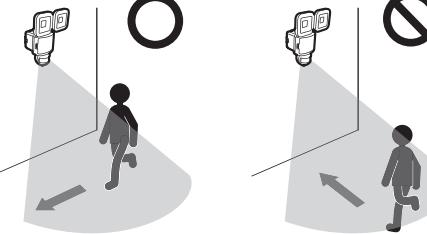
**△必ず付属品を使用する** 落下、故障の原因になります。

**△取り付け注意** 次のような場所に取り付けると、センサーが誤作動したり、動作しなかったりすることがあります。



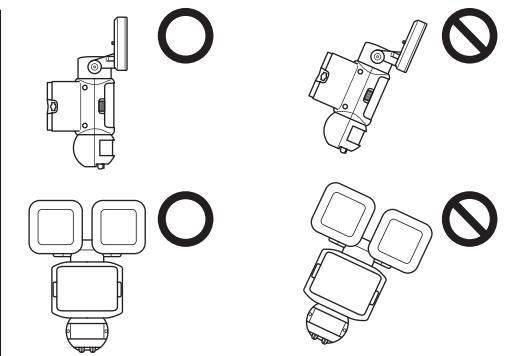
**!** 本体に対して人が横切るような場所に取り付ける。

・本体に向かって直進すると、センサーの特性上検知しないことがあります。



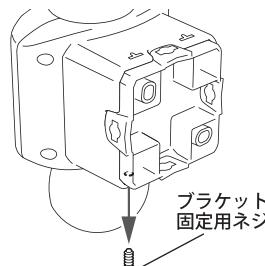
**!** 本体が正しい位置に取り付けられているか確認する。

- 正面から見て地面と水平になるように取り付ける。
- 前後左右に傾いているとセンサーが誤作動する原因になります。
- 内部に雨水が入り故障の原因になります。

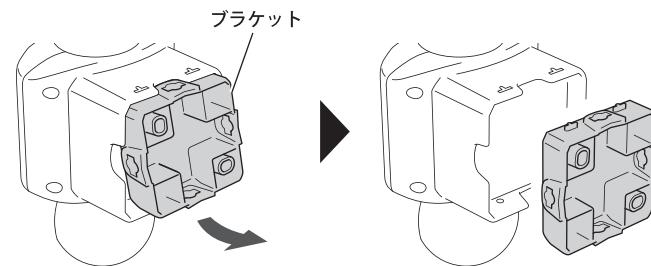


## ブラケットの取り外し

1. ブラケット固定用ネジを外す。



2. ブラケット下部を手前に引き本体から取り外す。

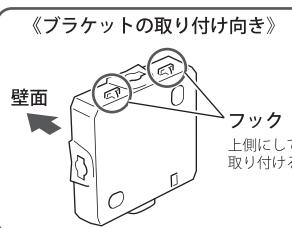
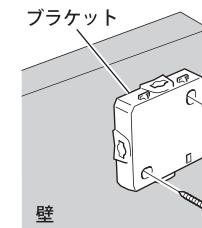


## ブラケットの取り付け

**木壁やモルタル壁などへの取り付け**

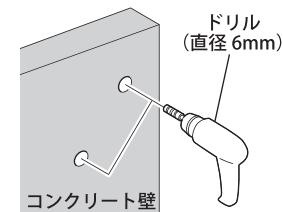
1. 図のように付属のネジ 2 本でブラケットを固定する。

\* ブラケットが割れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。

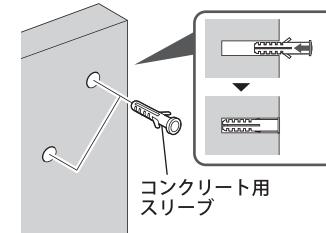


**コンクリート壁への取り付け**

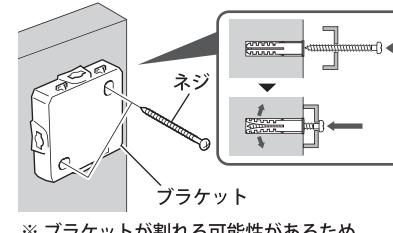
1. あらかじめ取り付ける位置に印をつけ、ドリルで直径 6mm の穴を開ける。



2. 付属のコンクリート用スリーブを穴に打ち込む。



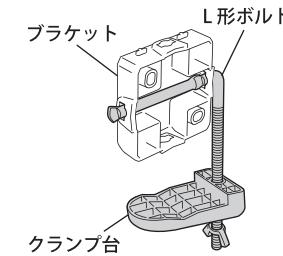
3. 付属のネジ 2 本でブラケットを固定する。



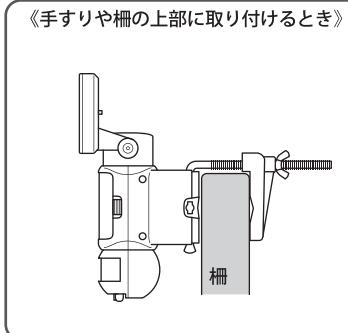
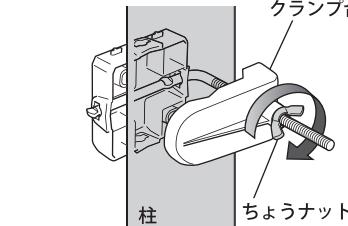
\* ブラケットが割れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。

**付属のクランプ台とL形ボルトによる取り付け**

1. L形ボルトにクランプ台を通して、図のようにブラケットに差し込む。



2. 取り付けたい柱をブラケットとクランプ台で挟み、ちょうナットを締めて固定する。

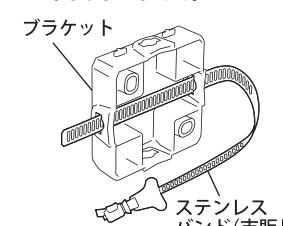


\* 柱やパイプをクランプ台の中央に挟んでください。

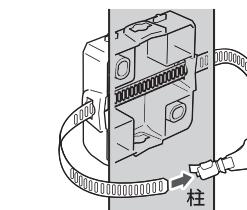
**市販のステンレスバンド(幅 10mm)による取り付け**

1. ステンレスバンド(幅 10mm)をブラケットに差し込む。

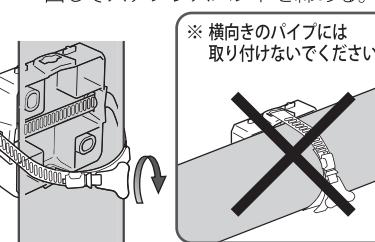
\* 差し込む方向は左右どちらでもかまいません。



2. 取り付けたい柱にステンレスバンドを巻き付け、ステンレスバンドのつまみ部分に差し込む。



3. ステンレスバンドのつまみを回してステンレスバンドを締める。



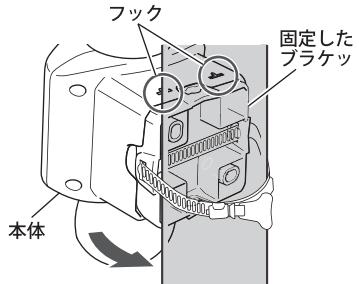
\* 横向きのパイプには取り付けないでください。

\* ステンレスバンドを使用する柱には傷が付く場合があります。

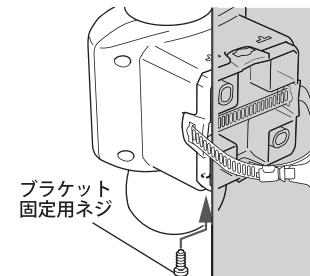
## 本体の取り付け

\* イラストはステンレスバンドによる取り付け時のイメージ図です。

- 固定したブラケット上部のフックに本体を差し込み、矢印の方向にはめ込む。



- ブラケット固定用ネジで本体とブラケットを固定します。

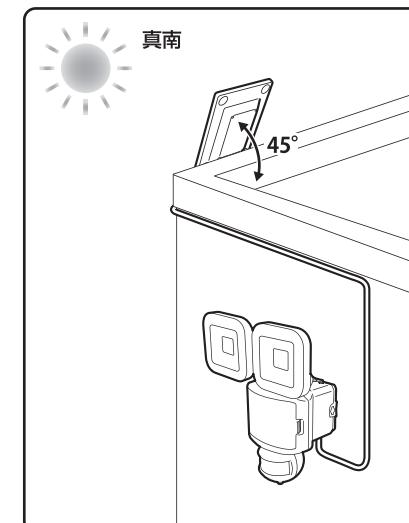


## ソーラーパネルご使用前のご確認

ご使用前に必ず下記の事項をご確認のうえ、安全にご使用ください。  
指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

### チェック項目

- ご購入いただいた状態では充電が不十分です。  
晴天の日に約2日間充電したあとでご使用ください。  
数日間天候の悪い日が続くと充電が不十分になります。  
また、ソーラーパネルの接続プラグがセンサーライトにしっかりと差し込まれているか確認してください。
- ソーラーパネルの接続コードは約5mです。  
センサーライトとの距離を確認のうえ、取り付けてください。
- ソーラーパネルを正しく取り付けてください。



### 取り付けは確実におこなってください。

センサーライトとソーラーパネルは、安全な場所に確実に取り付けてください。また、事故を防ぐため、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。



### 警告

死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

	ソーラーパネルのコードを破損させない。 ソーラーパネルの接続コードを破損する、無理に曲げる、加工するなどしない。また、重いものを乗せる、挟み込むなどしない。火災・感電・故障の原因になります。		ソーラーパネルのコードが傷んだ時(芯線の露出、断線など)は、使用しない。 そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。使用を中止して、弊社修理ご相談センターにご相談ください。
	専用のソーラーパネルを使用する。 専用のソーラーパネル以外を使用すると、火災・感電・故障の原因になります。		ソーラーパネルのプラグの汚れやほこり等を拭き取る。 絶縁不良やショートで、火災・感電の原因になります。ソーラーパネルの接続プラグを抜いて時々点検してください。接続プラグが汚れている場合は、乾いた布で拭いてください。
	充電池の異臭・発熱・変形に気がついた時は弊社お客様相談室にご相談ください。 ソーラーパネルの接続プラグをセンサーライトから取り外してください。		充電池を交換する時は弊社修理ご相談センターにご相談ください。 感電・故障の原因になります。

## ソーラーパネルの取り付け場所

ソーラーパネルは、直射日光が長い時間当たる南向きの壁面や柱、屋根の上などに取り付けてください。  
また、ソーラーパネルの角度は地平線に対して上方向45°がもっとも効率のよい角度です。  
樹木や建物の陰になるところは避けて取り付けてください。

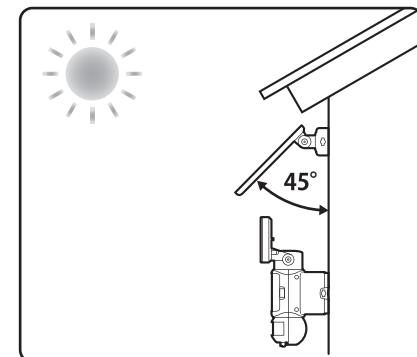


本体を動作させる前にソーラーパネルから本体への初期充電を必ずおこなってください。

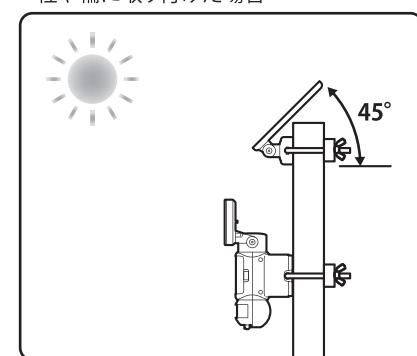
- ご購入いただいた状態は充電が不十分です。晴天の日に約2日間充電したあとでご使用ください。

※ ソーラーパネルに直射日光が長時間当たる場所を選び充電してください。満充電までの時間は季節・日照時間・天候により異なります。

・壁面に取り付けた場合



・柱や柵に取り付けた場合



### 1 直射日光の当たる南の向き

発電効率の最もよい方位は正午の太陽の向き(真南)です。

### 2 地平線の上方向約45°

地平線に対し約45°がもっとも効率のよい角度です。

### 3 日照時間の長い場所

長時間充電できるように、太陽の光がなるべく長い時間当たる場所を選んでください。

### 4 太陽の光を妨げる障害物のない場所

樹木やビルなど、太陽の光を妨げるものがあるところで、充電に必要な光が十分当たらぬことがあるので避けください。

### 5 太陽の正面になるように角度を調節

住宅環境によって理想の方位や向きに設置できない場合は、太陽に対して正面の向きになるように、ソーラーパネルの角度を調節してください。

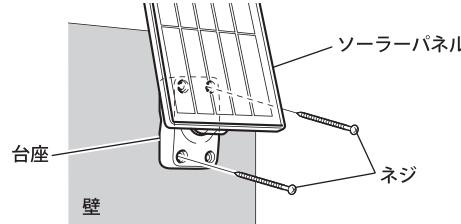


万が一に備えて、落下しても事故が起こらない場所を選んでください。

## ソーラーパネルの取り付け

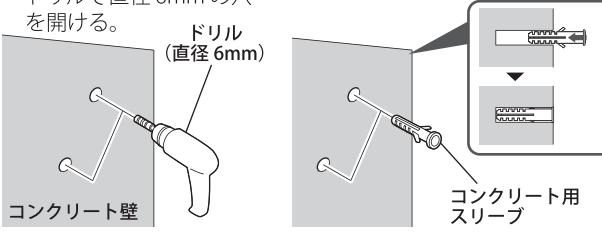
### 木壁やモルタル壁などへの取り付け

- 図のように付属のネジ2本を対角に取り付け、台座を固定する。
- 取り付け場所によって台座の角度を調節してください。
- 台座が割れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。

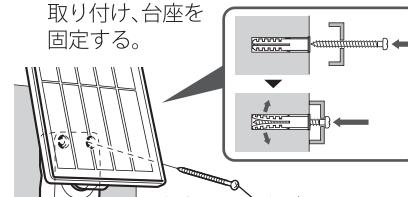


### コンクリート壁への取り付け

- あらかじめ取り付ける位置(2箇所)に印をつけ、ドリルで直径6mmの穴を開ける。
- 付属のコンクリート用スリーブを穴に打ち込む。



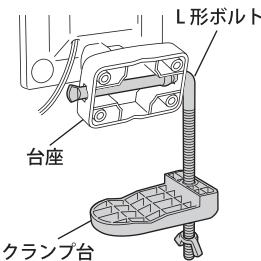
- 図のように付属のネジ2本を対角に取り付け、台座を固定する。



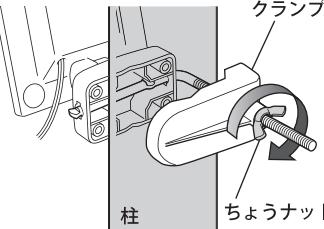
※ 台座が割れる可能性があるため、ネジの締めすぎに注意してください。

### 付属のクランプ台とL形ボルトによる取り付け

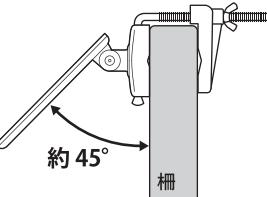
- L形ボルトにクランプ台を通し、図のように台座に差し込む。



- 取り付けたい柱を台座とクランプ台で挟み、ちょうナットを締めて固定する。



#### 《手すりや柵の上部に取り付けるとき》

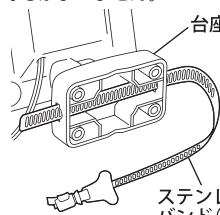


※ 手すりや柵に取り付ける場合はソーラー パネルを下向きにし、角度45°に傾けます。

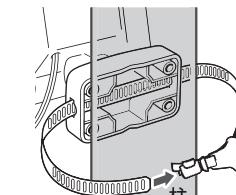
### 市販のステンレスバンド(幅10mm)による取り付け

- ステンレスバンド(幅10mm)をブラケットに差し込む。

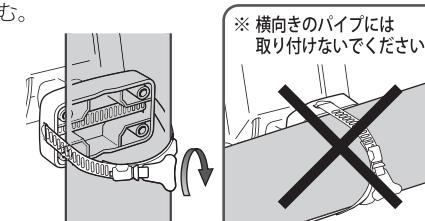
※ 差し込む方向は左右どちらでもかまいません。



- 取り付けたい柱にステンレス バンドを巻き付け、ステンレス バンドのつまみ部分に差し込む。



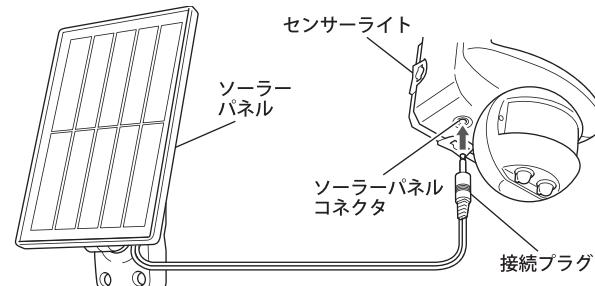
- ステンレスバンドのつまみを回してステンレスバンドを締める。



※ 横向きのパイプには取り付けないでください。

※ステンレスバンドを使用する柱には傷が付く場合があります。

## ソーラーパネルと本体の接続



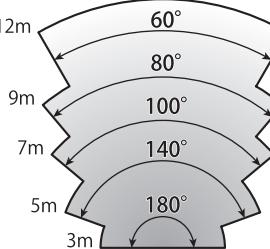
ソーラーパネルの接続コードのプラグをセンサーライトのコネクタにしっかりと奥まで差し込んでください。

## 検知エリアについて

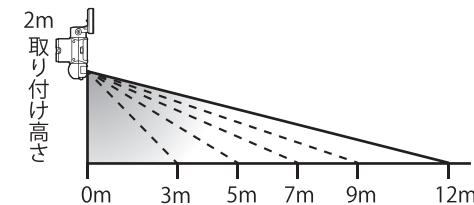
**検知エリア** 高度:約2m 検知距離:最長約12m 検知範囲:最大約180°

※下記は取り付け高さが2mの場合です。※取り付け高さを半分にすると、検知エリアは図の半分になります。

### 【検知エリアを上からみた図】



### 【検知エリアを横からみた図】



## ⚠ 検知エリアに関するご注意

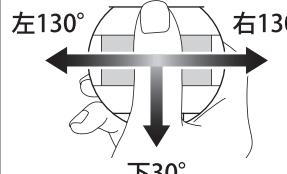
- 本機の取り付け高さは2.0~2.5mが最適です。3m以上の高さに取り付けないでください。
- 検知エリアは自安です。気温・服装・移動速度・侵入方向・体温・器具の取り付け高さなどにより大きく変動します。
- センサーは検知エリア内の温度変化を検知しますので人以外の動物や車などが移動した場合も検知します。
- 夏場の周囲の温度が高く、人の体温との差が小さいとき検知しない場合があります。
- 検知エリア外でも人より大きい熱源(車など)が移動したとき検知する場合があります。
- センサーライトの真下は検知できない場合があります。
- 乾電池を入れた後、初期動作が安定するまで、最大約40秒のウォーミングアップ時間があります。安定するまで、検知範囲に入らないでください。

## センサーの調節

- 調節するときは、周囲が実際に点灯させたい時の明るさになっている状態でおこなってください。
- 調節後は、センサーの検知内に入り点灯させ、すぐに検知範囲外へ出て消灯の確認をしてください。

### センサー左右角度調節

図のように持ち、検知したい方向にセンサーを向けてください。



※ 左右に調節した後で下に向けてください。

### 昼夜ツマミ

周りの明るさに合わせてセンサーの感度を調節できます。



「OFF」: センサーライトは点灯しません。ただし、充電はできます。

「昼」: 周囲の明るさに関係なく、センサーが検知すると点灯します。

「夜」: 暗い所でセンサーが検知すると点灯します。

※ 夜でも他の照明の光が当たるときは「昼」側に調節してください。

### 点灯時間ツマミ

点灯時間を「5秒」から「15秒」の間に調節できます。



※ ツマミの角度は時間と比例しません。

※ 点灯中に再検知した場合、点灯時間が延長されます。

※ 人がいなくなると設定時間後に消灯します。

## 故障かな？と思ったら

こんなときは?	考えられる原因	処 置
ライトが点灯しない	・電池の接続方向が間違っている	電池の①②を正しくセットしてください。(P.3)
	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命)	新しい電池に交換してください。(P.3)
	・昼夜ツマミがOFFになっている	昼夜ツマミを「昼」または「夜」に調節してください。(P.9)
	・電源が入っていない	ソーラーパネルの接続コードのプラグを本体のコネクタにしっかりと奥まで差し込んでください。(P.9)
	・ソーラーパネルの向きが正しく取り付けられていない	直射日光が長時間当たる南向きの壁面などに、上向き45°に設置してください。(P.6,P.7)
	・充電池の充電不足	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置いてください。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) スイッチをOFFにし、晴天日の約2日間で満充電にします。(P.6,P.7)
	・ソーラーパネルの接続プラグが本体から外れている	ソーラーパネルの接続プラグを本体のコネクタにしっかりと差し込みます。(P.9)
	・ソーラーパネルの接続コードが痛んでいる (芯線の露出、断線など)	使用を中止して、弊社修理ご相談センターにご相談ください。
	・昼夜ツマミが「夜」側に調節されている	昼夜ツマミを「昼」側に回し調節してください。(P.9)
	・検知エリアの設定が適切でない	取り付け位置を変更するか、検知エリアの調節をやり直してください。(P.4,P.9)
	・センサー部に向かって直進している	本機に向かって直進した場合、検知が鈍くなります。(P.4)
	・センサーが汚れている	検知部(センサー)を柔らかい布で傷が付かないように拭き取ってください。
	・センサーに蒸気や雨などの水滴が付いている ・寒いときや雨降りのときに人がマフラーなど覆われている ・夏場に周囲の温度が高く、人の体温との差が小さい ・非常にゆっくりした速度で検知エリアを移動した	センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、左記の場合は検知しづらいことがあります。
	・検知エリアが遮られている	センサーの前に壁やガラスがあると検知できません。取り付け位置を変更するか、検知エリアの調節をやり直してください。(P.4,P.9)
ライトが点灯したまま消灯しない	・検知エリア内および周囲に誤動作源がある (例)他の照明器具、洗濯物、犬や猫、植木、エアコン吹き出し口 ガス給湯器、強い無線ノイズ、車の熱やヘッドライト ・検知エリアが道路にかかっていて、進行する車や人に反応している	誤動作源を取り除くか取り付け位置を変更したあと、検知エリアの調節をやり直してください。(P.4,P.9)
ライトが昼なのに点灯する	・昼夜ツマミが「昼」側に調節されている	昼夜ツマミを「夜」側に回し調節してください。(P.9)
点灯回数が少なくなった	・乾電池の電圧が低下している(電池寿命) ・充電池の充電不足	新しい電池に交換してください。(P.3) ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置いてください。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) スイッチをOFFにし、晴天日の約2日間で満充電にします。(P.6,P.7)

## お手入れのしかた

センサーライトは中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、使わないでください。
ソーラーパネルの表面の汚れの拭き取りは年に1~2回実施してください。中性洗剤、または水を含ませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
ソーラーパネルとセンサーライトの取り付けネジは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

## 製品仕様

センサーライト	型番:LS-H2125A19-K (約)幅177×高さ237×奥行124mm(本体のみ)
外形寸法	(約)475g(本体のみ) (最大)1200lm
電源	リチウムイオン充電池 3.7V 4000mAh 単3形アルカリ乾電池×3本(別売)
充電池	点灯時間 15秒にした場合 5秒にした場合 1日平均 春夏秋平均 約50回 約150回 冬 平均 約33回 約100回
1日平均	満充電時約180回 満充電時約550回 *春夏 東京 充電可能な平均日照時間3時間※ *冬 東京 充電可能な平均日照時間2時間※
点灯回数	約1.5か月 約4.5か月
乾電池寿命	点灯時間を15秒にした場合 点灯時間を5秒にした場合 (1日10回点灯の場合)※
光源色	屋外用(防じん防まつ形IP44)
センサー	検知方式 焦電型赤外線センサー 検知範囲 取り付け高さ約2mの場合、最長約12m、最大約180°
点灯時間	約5~15秒調節可能 OFF 昼(周囲が明るくても暗くても点灯) 夜(周囲が暗いときのみ点灯)
点灯切替モード	屋内・屋外用(防じん防まつ形IP44)
設置場所	コンクリート用スリーブ×4本、ネジ×4本、クランプ台×2個、L形ボルト×2本(ちょうナット、ボルトカバー付き) 保証書付取扱説明書(本書)
付属品	●厚み 最小約15mm、最大約100mm ●パイプ径 最小約30mm、最大約85mm
クランプ取り付け寸法	※電池寿命は充電池と乾電池の性能、使用状況により大幅に変わることがあります。

ソーラーパネル
種類
出力
コード長さ
設置場所
外形寸法
質量

単結晶シリコン太陽電池
5V/340mA
約5m
屋外用(防じん防まつ形IP44)
約 幅97×166×40mm(本体のみ)
約235g

## 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛け等による故障及び損傷
  - (ニ) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
  - (ホ) 本書のご提示がない場合
  - (ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
  - (ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
  - (チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 **This warranty is valid only in Japan.**
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。